

平成31年 第4回

# 武蔵野市教育委員会定例会

平成31年4月3日

於 教育委員会室

武蔵野市教育委員会

平成31年第4回武蔵野市教育委員会定例会

○平成31年4月3日（水曜日）

○出席委員（5名）

教 育 長	竹 内 道 則	教育長職務代理者	清 水 健 一
委 員	山 本 ふみこ	委 員	渡 邊 一 衛
委 員	小 出 正 彦		

○事務局出席者

教 育 部 長	福 島 文 昭	教育企画課長	渡 邊 克 利
指 導 課 長	秋 山 美 栄子	統括指導主事	小 澤 泰 斗
教育支援課長	牛 込 秀 明	生涯学習課長	長 坂 征
生涯学習課 スポーツ課 武蔵野ふるさと 歴史館担当課長	栗 原 一 浩	生涯学習課 スポーツ課 武蔵野ふるさと 歴史館副参事	小 山 佳 幸
図 書 館 長	鎌 田 浩 康		

○日 程

1. 開 会
2. 事務局報告
3. 議 案 なし
4. 協議事項
  - (1) 平成31年度教育委員会各課の主要事業について
5. 報告事項
  - (1) 平成31年度武蔵野市教育委員会職員の人事異動の専決処分について
  - (2) 平成31年度武蔵野市立学校教職員の人事異動の専決処分について
  - (3) 武蔵野市教育委員会事務局処務規程の一部を改正する訓令の専決処分について
  - (4) 武蔵野市立学校職員出勤等記録整理規程の一部を改正する訓令の専決処

分について

- (5) 武蔵野市立学校職員服務規程の一部を改正する訓令の専決処分について
- (6) 生涯学習計画策定委員会の設置について
- (7) 武蔵野地域自由大学称号記授与式について
- (8) 武蔵野市生涯学習事業費補助金の募集について
- (9) 武蔵野市子ども文化・スポーツ・体験活動団体支援事業費補助金の募集について
- (10) 武蔵野市教育委員会事務専決規程の一部を改正する訓令の専決処分について

## 6. その他

○**竹内教育長** では、開会前ですが、去る3月26日に開催されました平成31年第1回市議会本会議において、渡邊委員が教育委員として任命の同意を得て、4月1日付で再任されました。渡邊委員から、ご挨拶をいただきたいと存じます。

よろしく申し上げます。

○**渡邊委員** 4年間、1期目をやらせていただいて、不慣れなところもありましたが、また新たな気持ちで引き受けさせていただくことになりました。皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。

○**竹内教育長** よろしく申し上げます。

ありがとうございました。

次に、小出委員におかれましては、去る3月31日付をもちまして、教育長職務代理者の職を退任されました。つきましては、ここでご挨拶をいただきたいと存じます。

どうぞよろしく申し上げます。

○**小出委員** 皆さんのお力添えで、何とか1年間、務めさせていただきました。どうもありがとうございました。これから清水委員、よろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

○**竹内教育長** ありがとうございました。

教育長職務代理者としては、前回、3月の定例会での協議により、清水委員が指名をされました。そのことを踏まえまして、4月1日から就任をしていただきました。清水委員からご挨拶をいただきたいと存じます。

どうぞよろしく申し上げます。

○**清水委員** 昨年の4月1日に教育委員を拝命いたしまして、1年間がたちました。前とは違った立場で、教育委員として学び、そして武蔵野市の教育について考えて発信をしてきたつもりであります。この4月1日から、今ご紹介いただきましたように、教育長職務代理としての大役を仰せつかりました。それに当たりいろいろとやっていきたいこと、その中で特に今年1年間、大事にしていきたいなと思っていることがあります。それは、教育長とたくさんお話をさせていただいて、教育長の夢とか願いとか、思いをしっかりと受けとめて、そして教育長の思いを実現できるように、職務代理としてサポートできたらいいなというふうに思っております。今年1年間、微力ではありますがけれども、

全力を尽くしてやってまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

○竹内教育長 ありがとうございます。

---

### ◎開会の辞

○竹内教育長 ただいまから平成31年第4回教育委員会定例会を開会いたします。

初めに、会議録署名委員の指名を行います。

本日の会議録署名委員は、武蔵野市教育委員会会議規則第36条の規定により、議長において渡邊委員、小出委員、私、竹内の3名を指名いたします。

次に、傍聴についてお諮りいたします。

定員の範囲内で傍聴の申し込みがあった場合、本日の傍聴を許可することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○竹内教育長 それでは、傍聴を許可いたします。

---

### ◎事務局報告

○竹内教育長 これより、議事に入ります。

まず、事務局報告に入ります。

福島部長から報告をお願いします。

○福島教育部長 それでは、私から前回の教育委員会定例会以降の教育委員会の状況等について、報告をさせていただきます。

まず、議会関連でございますが、3月5日、火曜日に開催されました文教委員会についてご報告いたします。

まず、武蔵野市子ども生活実態調査報告書について、行政報告を行いました。

ひがし委員から、中学校から勉強が難しくなり、悩んでいる子どもがいる。今回の調査結果をどのように現場に知らせていくのかとのお尋ねには、担当課長より、校長会等、機会を捉えて説明をしていくとお答えをいたしました。

笹岡委員からの年収による保護者の実態、意識の比較に当たって、比較対象を世帯の年間手取り収入額300万円で分けたのはなぜかとお尋ねには、担当課長より、他区市の類似の調査で使われた数字を参考にしたとお答えをいたしました。

深田委員からの平日、朝ご飯を一緒に食べる人の有無と、放課後の過ごし方のクロス

集計を行ったのかとお尋ねには、私より、そのような集計は行わなかったが、第3期学校教育計画策定中でもあり、必要に応じて行っていきたいとお答えをいたしました。

次に、武蔵野市民科カリキュラム作成委員会の検討結果について行政報告を行いました。

ひがし委員からの、教員にどのように理解してもらおうのかとお尋ねには、担当課長より、教員が理解し、学校としてしっかり取り組めるよう指導、支援をしながら進めたいとお答えをいたしました。

笹岡委員からの、武蔵野市民科が導入されることで、学校の学習時間がどのくらいふえるのかというお尋ねには、担当課長より、市民課は総合的な学習の時間を中核にして、いろいろな教科、領域を結びつけて単元を構成するため、時間数自体は増えないとお答えをいたしました。

深田委員からの、各校の市民科のカリキュラムを、どのように進捗管理するのかというお尋ねには、担当課長より、今後設置するカリキュラム検討委員会で検討をしていくこと、またカリキュラムの中身については、教育課程を受理するときには内容を確認していく。また、可能な限り指導主事が授業を見に行き、助言、指導していくとお答えをいたしました。

本間委員からの、わざわざ市民科という形にするのはなぜかというお尋ねには、担当課長より、きちんと教育課程に位置づけ、学校教育の中核に据えて取り組むことが、市民性という資質・能力を育てていく上で、より効果的であると考えたためであるとお答えをいたしました。

蔵野委員からの名称に武蔵野と入れたのはなぜかというお尋ねには、担当課長より、武蔵野市立小学校においてやりたい内容であり、他自治体の取り組みと混同されないようにするためとお答えをいたしました。

次に、武蔵野市立学校にかかわる部活動の方針について行政報告を行いました。

笹岡委員から、猛暑の際の部活動の安全対策についてお尋ねがあり、担当課長から、熱中症等さまざまな基準に基づき、学校できちんと把握をしながら、無理をしないようにしているとお答えをいたしました。

ひがし委員から、活動方針と年間活動計画例を作成する事務的な負担についてのお尋ねには、各学校で既に作成している類似のものを使うなど、極力事務的な負担をかけないようにしたいとお答えをいたしました。

深田委員から、教育以外の方に顧問をお願いすることを検討していないのかというお尋ねには、部活動指導員の導入について検討しており、来年度、モデル的に2校ほどで始めたいとお答えをいたしました。

次に、武蔵野市不登校対策検討委員会について報告をいたしました。

ひがし委員から、欠席日数が30日未満の人数はどれくらいかとお尋ねには、担当課長より、1週間に3日以上欠席した児童・生徒は、5月、連休明けが52名、9月、夏休み明けが73人であるとお答えをいたしました。

笹岡委員からのスクールソーシャルワーカー、担任とフリースクールの連携について、どのように考えているのかとお尋ねには、さまざまなフリースクールがあるので、それぞれを正確に把握した上で、連携の指針となるようなものをつくっていききたいとお答えをいたしました。

深田委員から、チャレンジルームの複数設置の検討についてお尋ねがあり、担当課長より、現状ではキャパシティーや指導員の配置の問題があるため、できるだけ多様なニーズに応えた指導ができるよう、チャレンジルームの機能強化と複数設置について検討していくとお答えいたしました。

次に、生涯学習に関する調査報告書について、行政報告を行いました。

笹岡委員から、学んだことがある公共施設で一番多いのは、市民向けアンケートでは武蔵野プレイス、社会教育関係団体向けアンケートではコミセンと違うのはなぜかとお尋ねがあり、担当課長より、団体の活動ではコミセンのような、比較的近場で貸し出しの手続きが難しくない形でできるところの需要が多いが、個人で勉強する場合は図書館やプレイスの需要が多いと考えているとお答えをいたしました。

深田委員からのプレイスは多くの方に利用されているが、個人としての学びにとどまっている点が課題であり、今後、地域や社会活動にどのようにつなげるのかとお尋ねには、私より、本調査は生涯学習計画策定のために実施したものであり、個人の学びを広げていかなければいけないという課題が数字的にも明らかになったので、今後の計画策定の中で検討していきたいとお答えをいたしました。

次に、予算特別委員会が3月13日に総括質疑が行われました。

まず、総括質疑分でございます。

学校体育館への空調設置に対して、平成30年度は補助金を活用しなかったのはなぜかとお尋ねには、早期設置を行うため平成30年度にリース方式で対応したが、30年度に

においては補助対象でなかったことによるもので、31年度からは都補助の活用を予定しているとお答えをいたしました。

次に、平成31年度の教育予算における課題認識についてお尋ねがあり、学校施設整備基本計画策定、学校教育計画、生涯学習計画改定のほか、新しい学習指導要領が2020年度から本格実施されるなど課題が多いが、着実に検討していきたいとお答えをいたしました。

次に、学校改築の具体的なプロセスに、地域はどのようにかかわるのかとお尋ねには、個別の改築計画の中でしっかりと意見を伺いたいとお答えをいたしました。

また、学校と他の公共施設との複合化についての見解はどのお尋ねには、今後、全庁的な検討を行っていくが、児童・生徒数の推移を見ると、短期的には難しい面もあるとお答えをいたしました。

次に、3月19日に教育費に関する質疑が行われました。

今後、市はフリースクールと連携していくのかとお尋ねには、フリースクールの指導形態はさまざまであるため、まず運営実態を把握した上で、学校とフリースクールの情報交換を支援していきたいとお答えをいたしました。

次に、中学校部活動指導員が来年度からモデル校2校へ配置されるが、具体的にどの部活動へ配置するのかとお尋ねには、配置校や種目は未定だが、運動部の指導を依頼する予定であるとお答えをいたしました。

小・中学校全校の体育館へのエアコン設置が完了する時期についてのお尋ねがあり、平成30年度に3校設置をしており、残り15校へは今年9月から来年2月にかけて設置するとお答えをいたしました。

次に、中学校の特別支援学級について、生徒数が増加した場合は、介助員を適宜増員していくべきではないかとお尋ねには、各生徒の日常生活における自立度や学級の状況など、必要性をよく見きわめ、学校と相談し状況に応じて対応したいとお答えをいたしました。

次に、40年以上前に発行された武蔵野市史の記述は古くなっており、現在の学説や資料に合わせての更新が必要と考えるが、いかがかとお尋ねには、課題として認識しているが、膨大な費用がかかるため、書籍として出版するかどうかを含め、作成方法を研究するとお答えをいたしました。

次に、教育センターの設置に向けた議論の現状と見通しを伺うとお尋ねには、相談



支援機能など、教育センターが担うとされた5つの機能は、現在では教育推進室と教育支援センターが担っており、当面はこの体制で運営をしていく。教育センター構想については、第3期学校教育計画策定の中で議論したいとお答えをいたしました。

就学援助の申請者数が再び増加しているが、この要因をどう分析しているかとお尋ねには、平成29年度から新小学1年生への入学前支給を開始したことや、制度の周知を強化したことが申請者数の増加につながったと考えたとお答えをいたしました。

次に、平成29年6月段階では、学校給食共同調理場での提供可能食数が、平成30年度には不足する見込みだったが、現状では不足していないのではないかとのお尋ねには、平成30年度は予備食を削って対応している状況である。また、平成30年度の人口推計に基づいて再計算すると、明確に今後の不足が見込まれるため、確実に給食を提供できる体制を確保できるよう、ある程度の余裕を持って新調理場の整備を行いたいとお答えをいたしました。

次に、第2期武蔵野市図書館基本計画が策定されたが、前期の計画から改定された内容を伺うとお尋ねがあり、市内3館の役割を整理したほか、蔵書方針の見直しや市民サービスの提供のあり方、中央図書館の管理運営方法の検討などに重点的に取り組むこととしたとお答えいたしました。

次に、武蔵野市民科の実施に当たっては、学校や教員によって指導内容に差が出ないよう、5年間を通したプログラムを作成する必要があるのではとお尋ねには、各学校で実施内容案を作成し、それを来年度の武蔵野市民科カリキュラム検討委員会で共有し、5年間の積み上げができるような計画を作成したいとお答えをいたしました。

議会関連については以上でございます。

次に、教育委員会にかかわることについてご報告いたします。

まず、3月3日、総合体育館で、メインアリーナで運動していない女性のための「絶対効果が出るストレッチ」を開催いたしました。講師は、青山学院大学駅伝チームのフィジカル教科指導を担当した中野ジェームズ修一氏にお願いをしたところ、100名の募集に対して289名の応募があり、託児枠25名に入れなかった11名を除いて278名を当選といたしました。当日、天気が悪くて、この天候の影響もあり、参加者は189名となりました。なお、観客席での参加及びパパと子どもたちのためのダンス室利用を合わせると、計345名の参加がありました。

次に、3月9日には武蔵野市教育委員会児童生徒表彰が公会堂で開催されました。9

人と2団体を表彰いたしました。三中の野坂 梨帆さんから、バイオリンの披露、六中の鈴木 杏梨さんから水球のボール投げの実演、大野田小の鍋島 映太郎さんから、ロボコンの発表、五中の西 舞衣子さんから、ラグビーボール投げの実演、三小、吹奏楽団の吹奏楽演奏の発表がありました。教育委員の皆さんも、ご参加いただきましてありがとうございました。

次に、3月10日、第59回武蔵野市内駅伝競走大会、第28回武蔵野市民健康マラソン大会を開催いたしました。今回は陸上競技場が工事で使用できないため、四中をスタート地点として実施をし、駅伝は135チーム、マラソンは172名の参加がございました。

体育館の空調設置については、3月20日から五小、五中、一中の体育館に設置された空調が使えるようになりました。残る学校については、31年度に設置をいたします。

次に、学校の状況について報告をいたします。

3月2日に市内9校の小学校の吹奏楽団が参加する武蔵野市ジュニアバンドジョイントコンサートが、また3月3日には市内4校の小・中学校と、むさし野ジュニア合唱団「風」の皆様が参加した武蔵野市青少年コーラスジョイントコンサートが、武蔵野市民文化会館を会場にそれぞれ開催されました。運営委員の先生方のご協力により、どちらもすばらしいコンサートとなりました。

次に、卒業式についてでございます。小・中学校の卒業式へのご出席、ありがとうございました。子どもたちの夢と希望が感じられる卒業式がとり行われました。それぞれが、また新しい場所でさまざまに活躍することを願っております。

次に、平成30年度の入学者の状況でございます。4月8日に小学校、9日には中学校の入学式がございます。ご出席、よろしく願いいたします。

また、小・中学校とも4月8日に始業式が行われます。入学者の状況についてですが、小学校では1,018名の1年生が入学をいたします。これにより、小学校の在籍者総数は5,913名となります。市立中学校は、今年度、591名の1年生が入学いたします。在籍者総数は1,830名となります。

次に、中学校の卒業生の進路状況でございますが、4月2日現在、卒業生619名のうち、49.6%が都立高校へ進学、43%が都内私立高校等に進学しました。

最後に、新学期当初の学校の予定でございますが、各学校では一、二週間の間に保護者会を持ち、校長の学校経営方針や学年や学級の目標、教科ごとの指導計画などを保護者にお伝えをいたします。このような機会を通して、子どもたちの成長を支えていく、

一層の信頼関係を学校と保護者が築いていくことを願っております。

事務局報告は以上でございます。

○竹内教育長 ただいまの報告に質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

渡邊委員。

○渡邊委員 中学生の卒業生の進路で、都立校が49.6という値は、例年に比べてどうですか。

○福島教育部長 昨年、47.9が都立高校ですので、昨年に比べれば増えているんですが、私立自体は昨年在43.5で、今年が43なので、そこは余り変わらない、変わっていないですね。ですから、他県の国公立には、去年は17名だったんですが、今年は31名進学しておりますので、強いて言えばその部分が都立に流れているといえますね。

○渡邊委員 ありがとうございます。

○竹内教育長 よろしいでしょうか。

---

### ◎協議事項

○竹内教育長 それでは、今日は議案がございませんので、協議事項に入ります。

協議事項1、平成31年度教育委員会各課の主要事業についてを議題といたします。

各課長から説明をいたします。

○渡邊教育企画課長 資料のほうをご覧ください。順番にご説明いたします。

まず、教育企画課、事業名1番、第三期学校教育計画の策定でございます。

現在、第二期の計画でございますけれども、これが今年度末で期間満了になりますので、今年度は次期の計画を策定してまいります。これまで策定委員会を設置しまして、会議を5回開催いたしました。

今後の課題でございますが、基本理念、基本的な考え方、施策と主要な取り組みからなる施策の体系を整理することが必要になります。

それから、同時並行で進んでおります第六期長期計画、第五次子どもプラン武蔵野との整合も図っていく必要がございます。

3点目の課題として、今年度末までに計画を固める必要がございますので、策定委員会での協議を加速する必要がございます。

目標でございますが、6月までに校長会、PTA、開かれた学校づくり協議会、青少年問題協議会等々のご意見を伺いたいと思っております。8月の下旬からは、計画の中

間まとめを出しますので、パブリックコメントも実施していきたいと思います。

計画案自体は、11月までに固め、年内の答申を予定しております。その間、教育委員会定例会においても、協議をさせていただき、ご意見を踏まえた上で決定をしていきたいと考えております。

2番目でございます。学校施設整備基本計画でございます。

これは学校改築のためでございます、今年度中にこの計画を策定していく予定です。

これまででございますが、計画の中間まとめを平成29年3月にまとめた後、一旦、策定委員会は休止しておりましたので、課題の1点目でございますけれども、策定委員会を再開させて、本計画を今年度末までに策定する必要がございます。その後、来年、2020年度以降、個別校の改築に着手をしていく予定です。これにつきましても、第六期長期計画、公共施設等総合管理計画との整合が必要になってまいります。

目標でございますけれども、31年度末までに教育委員会で決定していただけるよう、策定委員会の議論を進めてまいります。市民意見の聴取につきましては、策定委員会にお諮りしながら検討していきたいと思います。

それから、2ページのほうをご覧ください。

3番、児童生徒数増加への対応でございます。

児童・生徒数の増加が続いておりますので、学校の教育活動に支障が生じないように、施設面での対応を進めてまいります。

これまででございますけれども、30年度の児童推計に基づきまして、全小・中学校の将来の教室不足数の見込み等を調査したところでございます。それに伴って、対応を見ております。直近で申し上げますと、第一小学校につきましても、学童棟を建設するための予算措置を行ったところでございます。

今後の課題でございますけれども、まずは児童・生徒数の動きをしっかりと注視していき、見込みを超えた場合については適切に対応していく必要があるかと思います。

中期的な課題としましては、大野田小、関前南小学校、地域子ども館の部分をどうしていくのかという課題がございます。

第一小学校につきましても、今年度、予算がつきましたので、関係課と調整を進めていきます。

目標でございますけれども、庁内の会議体でございます児童増加対策調整会議で必要な調整をとっていきたいと思います。第一小学校は、先ほど申し上げたとおりでございます。

ます。大野田小学校、関前南小学校につきましても、地域子ども館の部分につきまして必要な調整を行ってきたいと思ひます。

それから、4番目でございます。安全安心かつ適切な教育環境の確保ということでございます。

学校施設の経年劣化や児童・生徒数の増加、それから自然災害リスク、地震、台風等でございます。それから、防犯への対応等、これにつきましても教育活動に支障がないよう、学校施設を整備していく必要がございます。

これまでの取り組み状況でございます。ここは代表的なものは掲げております。関前南小学校など、現在の建築基準法に適合しない学校ブロック塀につきましても、撤去、改修工事を行ったところす。それから、体育館の冷暖房設備につきましても、記載の3校について設置をいたしました。

今後の課題でございますけれども、震災に伴う非構造物等の落下、それからブロック塀などの倒壊防止対策を計画的に進めていく必要がございます。

それから、設定目標でございますけれども、学校ブロック塀につきましても、第二小、第五中、第六中学校につきましても優先して改修を行っていきたくと思ひます。体育館への冷暖房、空調につきましても、今年度中に全てを完了させたいと思ひます。

それから、3ページ、5番でございます。

新学校給食桜堤調理場の建設でございますけれども、こちらも児童・生徒数の増加に伴うものでございます。既に基本設計を終えまして実施設計の途中でございます。

今後の課題でございますけれども、この調理場自体は2021年度中に稼働させる必要がございます。そのため、このスケジュールをにらみながら、近隣住民等に丁寧に説明をしながら、実施設計を進める必要がございます。

目標でございますけれども、今年度中に実施設計を終え、着工するところまでを目指しております。

教育企画課からは以上になります。

○秋山指導課長 続きまして、指導課でございます。

6点、ご報告をさせていただきます。

初めに、4ページの学力及び体力向上に向けた取り組みでございます。

施策の趣旨並びにこれまでの取り組みについては、資料にあるとおりでございます。

今年度は、市講師や学習指導補助員を効果的に配置し、児童・生徒一人一人に確かな

学力を育む質の高い授業を行えるようにするとともに、主体的・対話的で深い学びの実現を目指して、各学校がカリキュラムマネジメントの充実に取り組むよう支援してまいります。また、体育を専門とする学習指導員や体育指導補助員の協力を得て、運動量の確保や運動意欲の向上を図る体育授業の改善を進めます。加えて、記載の5校を研究校に指定し、外国語、体育、プログラミング教育等の研究を進めてまいります。

2点目は、道徳教育といじめ等の未然防止に向けた取り組みでございます。

これまで道徳教育推進教師担当者会を設置し、「特別の教科 道徳」の授業改善及び評価のあり方について研修を進めるとともに、市いじめ防止基本方針の掲示資料の改訂などに取り組んでまいりました。今年度も引き続き、「特別の教科 道徳」の趣旨を踏まえた学習指導や評価のあり方について、道徳教育推進教師を中心に、各学校で組織的に工夫、改善を進めるよう指導、助言してまいります。

また、いじめ防止に向けた計画的な指導や、ソーシャルメディアへの対応、望ましい集団づくりを行うための「武蔵野ガイダンスプログラム」等を活用した教育活動の実施等、未然防止型の生活指導を一層進めてまいります。

3点目は、ICT機器を活用した教育の推進でございます。これまでも行ってまいりましたが、今年度はインターネットやSNSを活用する際の情報モラルを確実に身につけさせるために、各学校が計画的に指導を行うよう、指導、助言するとともに、SNS学校ルールの徹底を図ってまいります。

また、学校ICTサポーターの授業支援等を通して、児童・生徒自身がタブレットパソコンを授業で活用する場面をふやし、タブレットパソコン活用能力を向上させてまいります。

あわせて、タブレットパソコンの台数増に向けた方策についても検討してまいります。

4点目は、教育推進室による学校教育の支援でございます。

教育推進室は、相談・支援、研修、教育情報収集・発信、調査・研究、ネットワーク構築コーディネートという5つの機能を有しています。

これまで教育アドバイザーによる若手教員や臨時的任用教員等に対する定期的な授業観察と具体的な指導や、学校経営にかかわる校長への支援を行ったり、ティーチングアシスタントやサポートスタッフを各校に配置したり、学校への教育情報の発信をしたりしてまいりました。

また、地域コーディネーターを全校に配置し、学校支援コーディネーターとの連携に

よる学校の教育活動への支援体制を整備してまいりました。今年度も、これらをさらに充実させてまいります。

5点目は、教員の多忙化解消と健康増進に向けた取り組みでございます。

これまで副校長事務補助臨時的任用教員の配置や、学校閉庁日の設定、タイムレコーダーの全校設置、電話応答メッセージ対応の導入等、武蔵野市立学校における働き方改革推進実施計画、先生いきいきプロジェクトの取り組みを進めてまいりました。

また、武蔵野市立学校にかかる部活動の方針を策定し、部活動指導員のモデル配置の準備を進めてまいりました。

今年度は、武蔵野市立学校における働き方改革推進実施計画に基づき、多忙化解消に向けた具体的な取り組みを一層推進するとともに、新たな方策を検討してまいります。また、休暇や出張の申請も含めたタイムレコーダーを活用した出退勤システムの運用が、この4月から始まりましたので、その定着を図るとともに、各教員みずからが在校時間を意識するように働きかけてまいります。

部活動については、部活動のあり方検討委員会において、部活動指導員のモデル配置の成果と課題を検証するとともに、武蔵野市の実態に応じた持続可能な部活動のあり方について、引き続き検討してまいります。

加えて、教員の働き方改革の必要性や、その取り組み等を積極的に発信するよう努めてまいります。

最後に、6点目、新学習指導要領の全面実施に向けた対応と武蔵野市民科の試行でございます。

小学校は、2020年度、中学校は2021年度から新学習指導要領の全面実施となります。さまざまな研修等の機会を通じて、新学習指導要領で求められている主体的・対話的で深い学びの実現等に向けた情報提供等を行うとともに、小学校英語教育推進アドバイザーによる巡回指導や、教育課題研究開発校の研究発表会等を通して、英語の指導力の向上を図ったり、プログラミング教育推進校の取り組み内容を、適宜、全小学校に提供したりして、新学習指導要領全面実施に向けた準備を進めてまいります。

また、新学習指導要領に示されている授業時数を確保するための方策を決定し、きょういく武蔵野等さまざまな手段を通じて、保護者、市民の理解を得るよう努めてまいります。

加えて、小学校用教科書の採択が円滑に進むよう努力してまいります。

武蔵野市民科については、指導主事が各学校を回って、教員向け手引をもとに、その趣旨や単元指導計画のつくり方を説明した上で、各学校における対象学年ごとに単元以上の計画を作成するよう指導してまいります。

指導課からは以上でございます。

○牛込教育支援課長 では、続きまして7ページ、教育支援課から2点でございます。

まず、事業名12の特別支援教育の推進につきましては、課題と設定目標、3点に分けて記載をしております。

まず1点目が特別支援教室、発達障害の子を対象とした特別支援教室については、今後も児童・生徒数の増加が見込まれますので、中学校については今年度、特別支援教室の全校導入の準備を進めてまいります。2020年度に全中学校において特別支援教室を開設することを目標にしております。小学校についても、既に特別支援教室は導入をしておりますが、児童数の増加が見込まれますので、拠点校の増設について検討してまいります。

2点目の特別支援学級、知的障害、肢体不自由の子を対象とした特別支援学級については、今後の児童・生徒数の増減を見きわめまして、障害種別ごとに今後のあり方、指導体制の強化ですとか、学級の見直しを検討してまいります。

3点目のインクルーシブ教育システムの理念を踏まえた特別支援学級と通常学級との交流及び共同学習については、既に現在も行っておりますが、今後さらに充実するための支援策を検討するとともに、児童・生徒や保護者への理解啓発も図ってまいります。

続きまして、事業名13、不登校対策の総合的推進につきまして、こちら課題、設定目標、大きく2つに分けて書いております。

1点目が、不登校生徒、児童・生徒数の増加傾向があることを踏まえて、学校と家庭の連携推進事業の支援員や、スクールソーシャルワーカーのより効果的な体制を検討していきます。

もう一点が、不登校児童・生徒の多様な教育的ニーズに対応するために、チャレンジルームを初めとした多様な学び場のあり方について、検討委員会を設置しまして、検討していくということを設定目標としております。

教育支援課は以上でございます。

○長坂生涯学習スポーツ課長 続きまして、生涯学習スポーツ課です。

8ページをお願いいたします。



私からは、事業名14から16までの3事業を説明いたします。

3事業名とも名称の修正はございますが、いずれも前年度からの継続となっております。

まず、事業名14です。第二期生涯学習計画（仮称）の策定です。

取り組み状況にありますとおり、現生涯学習計画につきましては、平成22年から平成31年度までの10年間のものです。新たに32年度からの次の10年の生涯学習の方向性を示し、施策を総合的に推進するために計画の改定作業を今年度開始いたします。

課題でございますが、現計画の成果等につきまして総括し、分析、また現在求められている生涯学習のニーズ等について把握するため、30年度にこれに関する調査を実施いたしました。

結果につきましては、前回の定例会で報告をさしあげたところですが、これとあわせ計画に位置づけられた各事業の成果等を評価、分析し、新しい計画につなげていく必要があります。目標は、以上の検討や、またプレイスや歴史館の位置づけ、新たな生涯学習の課題等も踏まえ、本市の次の10年の生涯学習施策の基本となる計画を作成することと考えております。

なお、後ほど報告事項の中でご説明いたしますが、策定に当たっては生涯学習計画策定委員会を設置し、適切な検討を行ってまいります。

次に、事業名15、多様な事業主体の活動支援と連携の促進です。

これまでの取り組み状況でございますが、主なものとしまして、地域五大学との連携、サイエンスフェスタにおける小・中学校、大学、企業、NPOとの連携、また生涯学習事業補助金、子ども文化・スポーツの補助金、2つの補助金を通しました支援等を行ってまいりました。

課題でございますが、教育委員会主催の各事業につきましては、運営上の工夫、プログラムの充実等を一層、図ってまいりたいと考えております。

また、補助金等、市民活動に対する支援につきましては、支援方法等の検討を行い、定例的な行事への支援だけではなく、新たな取り組みを促す仕組みを検討することも課題だと思っております。また、生涯学習の新しい課題等も踏まえ、地域自由大学や土曜学校の次のステップを考えていく必要があると考えております。

設定目標ですが、地域五大学の連携事業につきましては、各大学との連携、協議行いまして、授業の充実や運営改善等を行ってまいります。多様な事業主体との支援、連携

の方法につきましては、現行、行っております社会教育団体の各種補助、生涯学習補助金、子ども文化・スポーツ補助金、2つの補助金につきましては、適切に交付してまいります。新学長を迎えた自由大学や土曜学校等については、改めて教育委員会が行う意味を精査し、生涯学習の検討ともあわせて、今後のあり方を考えてまいります。

続きまして、9ページをお願いいたします。

事業名の16、誰もがスポーツや運動に親しむ環境の整備です。

これまでの取り組み状況でございますけれども、誰もがスポーツを楽しめる環境の整備につきましては、体育施設のバリアフリー化を進めまして、ユニバーサルスポーツの紹介等を行ってまいりました。また、体験するスポーツにつきましては、オリパラ担当と連携をしまして、「Sports for All」等の各種イベントを行い、あわせて各種スポーツ教室、土曜学校などを生涯学習振興事業団と連携して行ってまいりました。ハード面につきましては、3つ目の項目にありますとおり、平成29年度に観るスポーツの振興のため、陸上競技場の改修を実施いたしました。また、次の項目ですが、平成30年度には陸上競技場の第三種公認更新のための工事を実施いたしました。また、運動習慣定着に関する取り組みをスタートし、障害者スポーツの振興につきましても、障害者のためのスポーツ広場事業を正式にスタートさせて、一層の充実を図ってまいりました。

課題でございますが、引き続きスポーツ、運動のきっかけづくりや、運動習慣の定着、地域スポーツの振興、障害者スポーツ、ユニバーサルスポーツ等の一層の啓発が必要と考えております。また、総合体育館が築30年を経過するなど、体育施設については長寿命化を見据えた調査が必要です。ラグビーワールドカップ、オリパラに関しましても、継続して各種取り組みの推進が課題となっております。

目標でございますが、大きく6つ項目がございます。

1つ目は、各種イベントや教室につきまして、障害者スポーツ啓発についての視点を持ったものを、今後も充実させてまいります。

2つ目ですが、29年度から施行実施してきたユニバーサルスポーツ体験を、正式に障害者のためのスポーツ広場事業としてスタートさせましたので、これを障害者のスポーツ習慣を支える充実した事業として成長させていきます。

3つ目ですが、体育施設の長寿命化につきましては、本年度、総合的な調査を実施し、長寿命化に向けた工事等の準備を行います。

4つ目ですが、オリパラ等国际大会に向けて、オリパラ担当としっかり連携し、継続

実施してまいります。学校へのオリパラ、ユニバーサルスポーツ等の事業支援も、引き続き実施してまいります。

5つ目です。運動習慣定着化事業につきまして、ストレッチイベントの分析を踏まえ、またオリパラの実行委員会の分科会の活動ともリンクさせまして、継続して取り組みます。

最後に、本年度はいよいよワールドカップの年となりますので、ロシアチームのキャンプ受け入れ等、各種取り組みに関しまして、オリパラ担当としっかり連携して進めてまいります。

○栗原武蔵野ふるさと歴史館担当課長 それでは、10ページ、17番、歴史館の管理・運営でございます。

現状といたしましては、文化財、保護事業といたしまして2件の文化財の指定を行いました。また、台風等で破損いたしました旧関前村名主役宅の補修や、公文書の旧桜堤小学校にありました10年以下の保存文書についての整理を行ったこと、民俗資料は1万7,000点のデジタルデータの確認を行いましたり、歴史館だよりで資料の価値づけを行ってまいっております。

課題といたしましては、市天然記念物の成蹊学園のケヤキの木、倒木、落木等でちょっと危険が増しているということ、また関前村名主役宅につきましては、老朽化をされていて現在の状況を保つのが困難になっているということ。また、井口家の民俗資料や、本宿小学校の民俗資料のような、大量の民俗資料の受け入れをしなければならないということ。また、歴史公文書につきましても、平成26年に大量で受け入れました歴史公文書の選別等、デジタル化などへの対応ということが挙げられます。

今後の目標でございますけれども、成蹊学園のケヤキの木の剪定につきましては補助事業を行うこと。旧関前村名主役宅につきましては、実測調査を行うこと。また、民俗資料につきましては、収集基準をつくりまして、きちんと価値づけを行っていくということ。また、公文書は26年度の移管文書につきましては、平成32年の3月までにきちんと選別を終えることが挙げられております。

○鎌田図書館長 続きまして、11ページ、図書館でございます。

図書館は5件でございます。

事業番号、18番、中央図書館の最適な運営体制の検討でございます。

施策の趣旨・概要といたしましては、第二期図書館基本計画におきまして、中央図書

館の役割を、市中央圏の地域館機能のほか、施設を舞台としない3館共通の事業の展開、それから図書館行政の企画立案といった形で整理をいたしました。

また、経験のある職員が集中して退職する時期が近づいている中、中央図書館の役割を果たすために、どのような運営形態が適切か、吉祥寺、武蔵野プレイスの運営状況、さらに中央図書館に指定管理制度を導入した他市の状況、また人材育成の確保といったような視点も重視いたしまして、望ましい管理・運営形態のあり方について、図書館運営委員会を中心に検討を進めてまいるといふものでございます。

取り組み状況、課題につきましては、記載のとおりでございます。

設定目標につきましては、平成31年度に吉祥寺図書館、武蔵野プレイスの運営状況の評価、他市の状況などの情報収集、分析を行います。平成32（2020）年度中に中央図書館の適切な運営形態について方向性をまとめてまいります。

続きまして、19番、子ども読書推進計画の改定でございます。

趣旨・概要につきましては、子どもの読書活動推進にかかわる具体的な取り組みを体系的に進めていくため、平成23年に策定した子ども読書推進計画を平成32（2020）年度までに改定をするものでございます。

取り組み状況、課題につきましては、記載のとおりでございます。

設定目標としては、平成31年度に子どもの読書に関する実態調査を実施し、平成32年度中に計画の改定を行います。

続きまして、事業名20の利用対象者の状況・特性に応じた図書館サービスの充実でございます。

趣旨・概要につきましては、誰もが図書にアクセスしやすい環境づくりや、全ての世代に対する快適な読書環境の提供と効果的な読書支援の取り組み。特に市民アンケートで読書率が低かった高校生・大学生から20代、30代に至る世代、そして今後、急速に増加する高齢層への取り組みの強化を行います。

取り組み状況、課題につきましては記載のとおりでございます。

12ページをお願いいたします。

設定目標といたしましては、オンラインデータベースの拡充、タブレット端末の導入などによる情報アクセス環境向上の検討。利用者の利便性向上のため、図書館から離れた地域へのサービスについての研究。ヤングアダルト世代への新たなプログラムによる読書支援の実施。高齢者施設への団体貸し出しの拡充。市民の「学びなおし」やさまざま

まな活動に参加するきっかけの提供。課題解決支援につながる図書展示、情報発信の充実でございます。

続きまして、市民サービス水準確保の検討でございます。

趣旨・概要につきましては、近隣市区との相互協定は、武蔵野市民の利便性向上や地域経済への波及効果といったことも期待されますが、平成29年度の市外居住者の登録数は市民の登録数とほぼ同数となっております。その結果、貸し出し冊数は年々増加し、同規模自治体中トップとなり、多くの人に読書の楽しさを提供しておりますが、予約待ちの日数の長期化など、相対的に市民サービスの低下が起こっているため、具体的な市民サービスレベルの確保策を検討してまいります。

設定目標といたしましては、近隣市区の状況、サービス内容に差異を設けた場合のシミュレーションや図書館運営委員会の意見などを踏まえ、予約冊数であるとか、貸し出し冊数などの差異を設ける程度につきましては、具体的な内容、変更案を検討してまいります。

続きまして、蔵書方針の見直しでございます。

趣旨・概要といたしましては、第2期図書館基本計画におきましても、本市、図書館の役割としては、過度に複本を購入することではなく、多様で持続性のある資料の収集を行うべきとしております。中央図書館の蔵書冊数は収蔵能力の上限にも近づいているということもございまして、今後も多様性と持続性のある図書や地域性のある資料の提供を続けていくために、あわせて除籍基準の見直しを行い、効果的・効率的な資料収集をさらに図ってまいりたいというところでございます。

取り組み状況、課題につきましては、記載のとおりでございます。

設定目標といたしましては、現在の資料収集方針を再点検し、新刊ベストセラー書籍の複本購入の抑制や、各分野における基礎資料の確実な収集、3館の個性を生かした資料収集などについて検討し、資料収集方針を改定いたします。また、ふるさと歴史館との資料収集の役割分担の明確化、計画的な除籍を実施するための具体的な除籍基準の作成でございます。

説明は以上でございます。

○竹内教育長 説明が終わりました。

ただいまの説明にご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

清水委員、どうぞ。

○清水委員 2ページの事業名4の課題の3つ目ですけれども、平成30年度に関前南小学校の門に「設置した電子錠の検証を行い、」って書いてあるんですけれども、他校には電子錠はないですね。ですから、どういうふうにその電子錠が機能するのか、どんな検証を行うのかということをお伺いしたいです。

それから、設定目標の2つ目に、高木など天候によって被害が想定されるものについてはというところがあるんですけれども、これは各学校の校長が、リスク管理の上で、一番、気にしている部分だろうと思うんです。大きな台風が来た後、木そのものが倒れる、枝が落ちてくるということはもちろんあります。しかし、その台風が通過した後、時間を置いて枝が落ちてくるということがあるんですね。実際に市内の小・中学校の中で、そのように枝が落ちてきたという報告を校長会でも幾つか聞いたことがあります。たまたまその時間帯、子どもがいなかったのが事故にはつながらなかったけれども、子どもが直撃していたら大変なことになると思うんですね。ですから、これはとても大切なことだと思います。校庭にある木はたくさんありますので、ぜひこの辺はしっかりと見ていていただきたいと思いました。

それから、4ページ目です。事業名6、課題の2つ目と3つ目です。探究的な活動や協働的な活動を位置づけた学習を充実させ、思考力・判断力・表現力等を一層育む。そして、児童・生徒の学習意欲を向上させ、主体的に学習に取り組む態度を育てるという課題、これに対して設定目標の1番目と2番目が、これに対応していくのか。大切なこととしては、こういった事業を実現していくときに、教員の授業観を変えていくということが、とても大事だと思うんです。今までの授業と、これからの授業、自分は授業、どう変えていったらいいのかというのは、その目指すべき、求めている授業観があって、そうなっていくと思いますので、一人一人がみずからの授業を改善していくことができるような、設定目標がもしここに盛り込めたら一番いいと思っています。いろいろな形でサポートしていくことも大事ですけれども、やはり教員の授業観を変えていくということは、非常に大切だと思いましたので、申し上げました。

それから、事業名8、ICT機器を活用した教育の推進のところですが、設定目標の中に、タブレットPCのことが書かれています。児童・生徒がみずからタブレットPCを操作しながら、それぞれの学習進度に合った学習を深めていけるようにしていくということが、課題であると思うんですけれども、この現状と、これからどうしていくのかというあたりも、話を伺いたいと思っています。

それから、事業名9です。5つの機能のうちで、一番今、充実させたい機能というのはどれなのか、それはどういう理由によるのか、教えていただきたいと思います。

それから、6ページ、事業名の11です。課題の4つ目ですけれども、新学習指導要領に対応する小学校教科書の採択を行うということです。これから教科書採択に向けて、校長会や教員への説明が進んでいくことと思うんですけれども、1つお願いがあります。今までの教科書採択で、それぞれ選ばれた委員と校長会も含めて、非常に武蔵野市はしっかりと丁寧に協議をしています。いろいろな意見を集約した上で、結論を出していきますが、最終的に決まった教科書会社というのが、今までと同じ会社というのが非常に多いような気がしています。本当に武蔵野市の子どもたちにとって、一番いい教科書は何かと考えていったときに、今までの教科書会社にとられることのないように、本当に一番いい教科書は何なのかということで話し合いをして、結論を出していくことが実はすごく大事であると感じております。そのことを、ぜひ説明会のおきにお話しただけたらありがたいと思っております。

それから、7ページ目ですけれども、事業名13の設定目標の1番目です。「学校と家庭の連携推進事業」というのが、平成30年度も行われていて、これは非常に成果が上がっていると思うんですね。今年度、その対象校が拡大されるということを知って、非常にいいことだと思っています。今年度、何校拡大されたのか。この成果については、全校に発信をしていただきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

最後に、12ページで、事業名21の市民サービス水準確保の検討というところで、武蔵野市が相互協定を結んでいる区市がどこかということを知りたいのと、この相互協定を結んでいる区市の市民が、武蔵野市の図書館をかなり利用しているということは伺ったわけですが、逆に武蔵野市民は他区市の図書館というのをどのぐらい利用しているのか、教えていただけたらありがたいと思っています。

以上です。

○竹内教育長 では、それぞれお願いします。

教育企画課長。

○渡邊教育企画課長 2ページの4番について、2点、お尋ねいただきました。

電子錠でございますけれども、今、関前南小の通用門のところに設置をしています。それは1階に正門がありまして、ただ事務室は2階ということで、どうしても距離的に離れているということがございました。電子錠につきましては、授業中そのまま作動さ

せておきますので、来訪者がいた場合は、まずインターフォンを押していただいて、事務室等から開錠するという扱いになりますので、実態等については検証過程で伺いながら、まとめていきたいと思っています。

それから、高木につきましては、去年の台風の後にも倒れた木がございました。日ごろから整備員等が、点検等を行ってまいりますけれども、やはり木が、古い木も多くなってきましたので、木の状態をしっかりと見きわめなければいけないと思っております。新年度につきましては、一部、木の状態を見て整理を検討していく予定でございますので、今後も続けていきたいと思っております。

○竹内教育長 指導課長。

○秋山指導課長 では、ご質問いただいた順番にお答えをしていきたいと思えます。

委員おっしゃったように、学力向上のためには、教員の授業の捉え方、授業観を変えていくということは本当に大切なことだと思っております。それを、この目標に設定をというふうなことでございましたが、先ほど委員もおっしゃってくださったように、そのために例えば2つ目のカリキュラムマネジメントの充実、主体的・対話的で深い学びの実現を目指すとか、研究指定校のこととか、教育委員会としては、そのところをてことして一人一人の先生方に意識をしていっていただきたいというところでございます。

それから、次の事業名8番、ICT機器を活用した教育の推進のところでございます。個々の進路に合った学習を展開していくためのタブレットの活用としては、東京ベシックドリルなどがございます。これは全てタブレットで使えるように設定がされておりますので、学校によってはかなりこれを活用して、ドリル学習になりますけれども、それぞれの進度に合わせてやっている学校がございます。ですので、今後できるだけ活用をしていただくようお勧めをしてみたいというふうに考えております。

それから、事業名9番、教育推進室の5つの機能のうち、一番充実させたいものはどれかというご質問でございましたが、1つを選ぶということは、なかなか難しいと思っております。

ただ、まず先ほどの教員の授業観のことにもつながりますが、教員の指導力を上げていくための教育アドバイザーの活用は、今年度も重視をしてみたいと思っております。若手教員だけでなく、学校のいろいろな教員に対して具体的に授業を見て、具体的に指導すること、これが一番、その授業観を変えていくという上でも有効なものだと思



いますので、重要視してまいりたい、これが1つです。

それから、地域コーディネーターの活用も年々、進んではいますけれども、これをさらに定着をさせていくことについても力を入れていきたいと思っております。

それから、事業名11番、教科書採択についてでございますが、これまでも今の教科書会社にとられることなく、とにかく一番いいものを選んでいきたいと思いますというお話をしてございますし、教育委員の皆様にもその観点で選んでいただいていると思っておりますので、引き続き説明をしてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○竹内教育長 教育支援課長。

○牛込教育支援課長 7ページの事業名13の不登校対策の総合的推進、「学校と家庭の連携推進事業」につきましては、従来4校で行っておりましたが、平成30年度は10校に拡大をし、また今年度、さらに5校増やして15校で実施をするということになっております。

また、各校さまざま工夫をされた取り組みをしていますので、機会を捉えて、そういった具体的な内容について、情報共有を図っていききたいと思っております。

以上です。

○竹内教育長 図書館長。

○鎌田図書館長 図書館の登録要件ですけれども、市民のほか在勤、在学の方、そのほかに、近隣市ということで、武蔵野市に隣接をしている市区に在住の方ということで、三鷹市、小金井市、西東京市、練馬区、杉並区の5市区と協定を結んでいるというところがございます。他市の割合につきましては、手元には正確な数字はないんですけれども、武蔵野市の方が他市で使われる割合はかなり低いようです。31年度中にそれらも条件を合わせて、正確に調査をしていきたいというふうに思っております。

○竹内教育長 清水委員。

○清水委員 ご丁寧な説明、ありがとうございました。

1点だけ、今、指導課長から説明があつて、授業力を向上させるための教員の授業観を変えていくということについては、これに文言として盛り込めないということであったとしても、例えば校長会のときとか、いろいろなときに、各学校の校長先生が教員の前で話をするのがたくさんあるでしょうし、校内研究もあるわけですけれども、その視点を校長先生方が持っていくということは、大事だと思います。そのことによって、

学校の先生たちの授業が変わっていくし、そのことがひいては学校全体を変えていくということにつながりますので、発信はぜひ指導課長のほうから、機会あるたびにさせていただきたいということと、私も教育委員という立場ですけれども、この辺については機会を捉えていろいろと話をしていきたいなと思っております。

○竹内教育長 教育委員会訪問もごございますからね。

○清水委員 ああ、そうですね。

○竹内教育長 ほかはいかがでしょうか。

山本委員。

○山本委員 まず、5ページの事業名8、ICT機器を活用した教育の推進のところでは、

ICTと、それ無しの学習、それは人の生き方にかかわるところだとも思うのですが、この2本の並行した道をつくっていくということが、とても大切になっていくと思います。ICT、IT、それを使う側の、児童・生徒もそうだし、教職員の皆さんもそうだし、その使う側の心身のケアということがとても大切だと感じています。使う側の心身のケアということ、どこかで盛り込むことをお願いしたいと思います。

特に、機械であるので、不具合が生じたときに、どのように対応するか、その不具合の状況にもよるし、場合、場合によって全然異なるとは思いますが、不具合は起こるのだという認識みたいなものも必要なのではないかと思います。

人間の力、実力を上げていくことで、テクノロジーという道具を使わなくても済むという一面もあります。そういうあたりのこともやはり認識している必要があるなということも考えたいと思います。

次、事業名9、教育推進室のところでは、教育推進室が本当によく機能していて、いろんなことを相談に乗っていただいたり、アドバイスをいただいたりしている。教育委員会としてもそうですけれども、実際に教育推進室と直の連携の機会というのは余りなくて、あるときには教育委員としての連携みたいな機会が、もう少しつくられることも期待しています。

それから、6ページの事業名10、教員の多忙化解消と健康推進に向けた取り組みのところでは、タイムレコーダーのことが出ています。これまでの取り組み、それからこの4月にそれが全面的に使われ始めているということも伺いました。タイムレコーダーを使うという場合の教職員の皆さんのありようはどうなんだろう、実態のようなこと、これからだという面も大きいにしても、こんなふうに思われている。アンケート調査のよ

うなこともなさったということも伺っておりますので、その入り口のあたりのことを伺いたいと思います。

それから、7ページ、事業名12、特別支援教育の推進のところでは、設定目標のところ、特別支援学級と通常の学級の交流及び共同学習をさらに推進するというところ、これとてもいいことだと思っています。もちろんこれまでもされてきたことだし、それがますますされていくということ、期待しています。

もう一つ、ここに加えたいことがあるとすれば、市民の皆さんへの周知、理解、交流です。物事は、知らないということは知らないということですが、それ以上に知らないから怖いという面もあると思うんですね。特にこの特別支援学級ということ、この世界に対する理解が進むと、市民としてのいろいろな面のありようがとても深まっていくと思うんです。この部分に、市民へのそういった期待、交流の促進というような文言が入るといいのではないかと考えています。

それから、8ページの事業名15、多様な事業主体の活動支援と連携の促進のところでは、

土曜学校を一生懸命進めてこられて、私も事あるたびに土曜学校通して、学ばせていただいています。これからますます、この土曜学校のあり方が大きな位置を占めていくことになるだろうと予想もし、期待もしていますので、これは希望ですけれども、この部分についても教育委員としてお手伝いできることがあったらしたいと考えています。

9ページの事業名16、誰もがスポーツや運動に親しむ環境の整備のところでは、とうとうラグビーのワールドカップが、今年行われるわけですが、詳しい予定や、私たちが知っておくべきことを、ぜひ教えていただきたいと思うんです。これからきっと、市民の皆さんにも質問されることがあったり、こちらからお願いしなければいけないこともあるときに、理解が進んでいないという反省もしています。

11ページの事業名19、子ども読書推進計画の改定のところでは、

図書館子ども文芸賞の選考のお役目をいただいて、読書感想文の部分を担当して下さっている山花郁子先生と交流があって、この2カ月の間に、山花先生がお書きになった学校の校歌の話と読書の動機づけの冊子を読ませていただいたんです。それを読むにつけても、特に武蔵野市の読書動機づけ指導、ブックスタート事業のことを、一生懸命続けてきてくださったことを、改めてありがたいなと思ったんですね。

その冊子を読んでいたら、山花郁子先生はお若く見えるけれども、昭和6年生まれで、何とこの3月に米寿を迎えられているんです。もちろんお元気で、これから先も武蔵野市の図書館のために、読書動機づけ指導のために、いろいろお力をおかりしたいんですけども、やはりその活動を受け継いでいくことも考えなければいけないと思っています。

いつか山花先生の読書動機づけ指導を初められたころのお話だったり、これからこの新しい時代に、コンピューターの世界、ネットの世界が、読書のほうにずっと近寄ってきているというようなこの時代に、読書ということをどういうふうに考えていったらいいか、そういう勉強をご一緒できたらいいなというふうに思っているんです。そのような機会が持てたらいいな、と。

○竹内教育長 指導課長。

○秋山指導課長 事業名8のところについてでございます。

I C Tのことだけにならないようにという、そういう趣旨のお話かなというふうに思います。委員おっしゃるように、そういう両面は確かに必要だというふうに思いますので、もちろん全教育活動の中で、委員おっしゃるようなところにも子どもたちが気づき、そういう考え方もできるような教育は進めていこうと思っております。

具体的に例を挙げていただいた、使う側の心身のケアということであると、多分、使い過ぎによるさまざまな身体的不具合を指されているのかというふうに思います。その一端として、この情報モラル教育の充実を、ぜひ進めたいと思っておりますが、情報モラルというと、その心身とは違いますけれども、やはりその使い過ぎというあたりについても、当然触れていくことになると思います。

それから、不具合が生じたときに云々というお話がございました。授業をしているときにということであれば、学校 I C T サポーターの支援を、そこで活用していただきたいと考えております。

事業9につきましては、何か具体的なご要望等ございましたら、ぜひおっしゃっていただければと思います。

それから、事業名10、タイムレコーダーのことでございます。出退勤の打刻は12月から試行をしています。このこと自体は、そんなに難しいことではないので、皆さんにやっています。ご自身の在校時間が可視化されてきたので、意識をするようになったという教員の方が少しずつ増えているかなと思います。ただし、その意識したこ

とが、在校時間の縮減に直結しているかという、まだそこまではっていないという現実もございます。

それから、このタイムレコーダーを活用した出退勤システムの中に、この4月から始まるものとして、休暇や出張申請を今まで紙で行っていたものを、そのシステム上で行うというものがございます。これについては、やはりなれるまでは、先生方は、多分、逆に面倒に思われるかもしれません。ただ、これができるようになると、副校長の業務軽減に役立つと思っていますので、最初は少し大変でも、先生方にぜひなれていただきたいと思っています。

以上です。

○竹内教育長 教育支援課長。

○牛込教育支援課長 7ページの事業名12の特別支援教育の推進の中で、特別支援学級と通常の学級の交流及び共同学習についてですね。これをさらに充実していくためには、やはり広く子ども、保護者に加えて、地域、市民の方々に、よくご理解をしていただくということが非常に重要だと考えております。既にさまざまな取り組みもされておりますので、そういった情報についても学校内だけではなく、地域に発信をしていく方策を考えていきたいと思っております。

以上です。

○竹内教育長 生涯学習スポーツ課長。

○長坂生涯学習スポーツ課長 土曜学校のあり方ということで、委員に非常に関心をお持ちいただきましてありがとうございます。委員として、どういうふうにかかわっていただけるのかということが、今後の課題にもなるかと思っておりますので、改めてこちらで検討させていただいて、ご協力いただく場合にお願いできればと思っております。

あわせまして、ラグビーワールドカップにつきましては、今まで詳しい内容が入ってなかったということでしたので、改めて詳細をご報告できればと思っております。

○竹内教育長 図書館長。

○鎌田図書館長 子ども読書活動について、ご意見ありがとうございました。読書指導の講師につきましては、順次入れかわってはいるところではございますが、山花先生は精神的な支柱のような方でいらっしゃいまして、抜けられても、こういった活動が引き継がれるようにしてまいりたいと考えております。読書とは、どういうことかというような、考える機会というようなことでご提案もありましたので、講演会とか講座とか、そ

ういった機会が持てればと考えております。29年度に、読書の動機づけ50周年の事業のときには、記念講演会など、そういった機会がございましたので、毎年でなくても、そういった機会が持てないか、検討していきたいと思っております。

○竹内教育長 山本委員。

○山本委員 もう一ついいですか。

この読書の話のところに、もう少し読むと書くということがつながっているということを、はっきり打ち出してもいいかもしれないと思うんです。読まないから書けない、書けないから読めないという、簡単に言うとそういうことになるので、でもそれを言われると、ちょっとどきっとしませんか。書かないから読めないとか。読めないから、書けないという。おどかさわけではないけれども、そこがとってもつながりの深いものだというのを、言葉として伝えていくことはとても大切だと考えています。

○竹内教育長 ほかにはいかがでしょうか。

渡邊委員。

○渡邊委員 今の先生方と大分内容が違うのですが、修正も含めて、細かい点も含めて意見を言いたいと思います。

まず、2ページの事業名4で、今度、新規事業という形で登録されていますけれども、これは今までずっとやってきたような内容が中心で書かれていると思うのですが、新規事業にした理由、どの辺を変えていきたいのか、今までの継続的なものとの違いというのを教えていただきたいと感じました。

次が4ページ目で、事業名6の施策の趣旨・概要の2番目のところに、理科や算数・数学の授業の充実を図り、科学的・数学的な見方や考え方を育てる。これは多分、プログラミング教育等も含めて実践していくことにもなると思うんですけれども、論理的という言葉がもう少し入っているといいと思いました。論理的というのは、別に数学的とはまた違って、文章でも言えるし、社会科の中でもお話できるわけですから、趣旨のところに加えていただきたい。そうすると、授業の展開がしやすくなるように思いました。

次が、その下の7番目で、いじめ防止基本方針の掲示資料、ポスターのことだと思うのですが、もう印刷はされているのかなと思うんですけれども、この間、卒業式に行ったときに、古いのが張ってあったりして、残念に思いました。各校に配布されていたら変えてほしい。せっかくなので、それをうまく活用していただくということは、大切であると感じました。

事業の8番目、清水委員と山本委員、お二方からお話がありましたけれども、これはタブレットの整備もきちんとやっていかないと、使いたいときにすぐ使えないということはあり得るので、今後どのように進めていくのか、予算との関係もありますが、増やしていく必要もあると思います。通常用いている今までのパソコンよりも、増やせる可能性が高いし、多分、子どもたちが触れる機会が多くなってくると思うので、進めていただけるといいと思いました。

7ページの12番目、これは文言の修正ですけれども、先ほどご説明の中で、課題の3番目です、特別支援学級と通常学級との交流とおっしゃっていたんですが、文章上、多分「と」を入れたほうがいいと感じました。そうすると、設定目標のところでも、本当に細かい話で申しわけないですけれども、3番目で同じような文言が出ていますので、「と」を加えたほうがいい。

次の13番目、最後の目標で、支援員を増員すると出て、これも財源との関係もありますが、増員は、どれくらいできるのか、今期はどのくらいを予定しているのでしょうか。

次の14番目は文言の修正ということなのですが、課題の1行目のところで、上の文章と同じ文章が書いてあって、「については適切に実施されてきたが、その」というふうに表現されているんですけれども、この「実施されてきたが、」そこまでは要らないかなと思ったんですね。上と全く同じ文言です。だから、「生涯学習事業の成果等ついて」というふうに単純化していただいたほうがよろしいと思います。

次の15番目の先ほど触れられた最後の設定目標で、土曜学校は、私も気になっています。放課後どのように子どもたちが生活するのかというあたりで、あそべえ、学童等も含めて総合的に土曜学校の位置づけとかを考えていくといいと思います。もし土曜学校を増やせれば、土曜日に、子どもたちが楽しんでいろいろな勉強に取り組めるということはあると思うので、またさらに充実も図れるといいと感じています。

次の16番目のSports for Allについて、オリパラに対する対応がされていますが、その後のレガシーについて、学校の授業の中にユニバーサルスポーツをどのようにして定着させていくのか、これだと誰でも連携してやれるということで、特別支援学級の子どもたちとも一緒に楽しめる、あるいは一緒になって競技できるような、そういう位置づけもできそうに思うので、その関連も含めて検討していただけるといいと思います。2020年が終わった後のことを意識しながら、2020年を迎えられるといいと思いました。

17番目、中島飛行機の工場のごことは、随分今まで出てきて、資料等、たくさん収集さ

れて、展示会等をやってこられました。そういう内容は、今回入ってないようですね。もう中島飛行機は、展示の活動としても回を重ねていると感じておりますが、もしまだこれからも展開することがあれば、入れておいていただきたいです。

細かいことですが、題名で歴史館第2期という「2」が算用数字で表記されておりますが、正しくは、漢数字なのか、算用数字なのか。正しい番号づけはどちらでしょうか。

最後に、11ページの20番、図書館のことですが、「施策の趣旨・概要」の最後の行に、「高齢者や」の「や」をとられたんですけれども、もしかして、ここに障害者が入っていたのでしょうか。例えばその次のページの課題で、来館困難者というの、障害者の対策の一つだし、図書館で文字を大きく見せる装置や、点字化するとか、それから録音テープを提供しているという活動もあるので、そのような障害者への対応もやっているというようなことが入ると、よりよいと感じました。

以上です。

○竹内教育長 指導課長。

○秋山指導課長 事業名6のところについて、「論理的思考力」という言葉を入れたほうがよいとのご意見をいただきました。施策の趣旨のところは、継続なので、そこに盛り込めるかどうか、あるいはほかのところへ盛り込めるかどうかについては、少し検討をさせていただきたいと思います。

それから、7番のところ、いじめの防止のポスターの件ですけれども、こちら印刷は上がってきておまして、もう既に3月末に各学校に配布をし、新年度、張りかえるようにということで連絡をさせていただきます。ただ張るだけでなく、子どもたちに意識化できるような働きかけをした上で、張ってほしいと言っておりますので、入学式の日既に張りかわっているかどうかは微妙なところでございますが、少なくとも4月中には張りかえていただけるものと思っております。

それから、事業名8番のところのタブレットパソコンのことですが、こちら課題のところにも書いてございますように、台数を増やしていきたいと思っております。ただ、学校に入れているものは教育用のもので、1台が結構高価なのです。ですので、簡単に増やしていくということが、予算との絡みの中でなかなか難しいところが実はございます。どのように増やしていくのか、どういうものを、今と同じものを増やしていくのがいいのか、そのあたりについては大きな予算がかかるものですので、考えていかなければいけないと思っております。設定目標の一番下、クラウドの利用も含め、タブ



レットパソコンの台数増に向けた方策について研究を始めるというのは、そういう趣旨でございます。

○竹内教育長 教育企画課長。

○渡邊教育企画課長 2ページの4番の新規事業にした理由でございます。事業としては、これまでもやってきた事業でございますけれども、項目として新たに特出しをさせていただきます。その理由ですけれども、学校をめぐる社会環境の変化のほかにも自然環境の変化、気候変動とか、その影響もやはり無視できないだろうと。特に昨年度は猛暑、あるいは台風等、改めてそのことを実感いたしましたので、課題として特出しをさせていただきます。今後、取り組みをしていきたいなど、その趣旨で書かせていただきました。

○竹内教育長 教育支援課長。

○牛込教育支援課長 7ページに、事業名12の特別支援教育の推進と特別支援学級と通常の学級との交流ということで、「と」については入れていきたいと思っております。

もう1点が、13ですね、不登校対策の推進のところ、「学校と家庭の連携推進事業」ですね。この内容については、具体的には地域の方に家庭訪問していただいたり、あるいは学生の方に別室で、生徒の話し相手になってもらったり、そういったことをやっています。

先ほど15校で、今年度、行うということで、具体的には各校、1校当たり週12時間、そういった支援員への謝礼金を予算として確保してあります。また、今後については、今年度、15校での実施状況を踏まえて、また今後については拡充を検討していきたいと考えております。

以上です。

○竹内教育長 生涯学習スポーツ課長。

○長坂生涯学習スポーツ課長 8ページの事業名14番のところを取組状況と課題の文言が同じであるということで、修正させていただきたいと思っております。「現生涯学習計画の成果等について」ということで、修正をさせていただきたいと思っております。

9ページの16番のところのレガシーをどう継続していくのかということでございますが、さまざまな機会に障害者スポーツの普及啓発を行っていきたくて考えております。31年度はファミリースポーツフェアですとか、ユニバーサルスポーツ体験として、ボッチャ、ブラインド、マラソン等を行う予定でありますので、引き続き継続して行いたいと思っております。

○竹内教育長 ふるさと歴史館担当課長。

○栗原武蔵野ふるさと歴史館担当課長 中島飛行機の関連でございます。今年は米国国立公文書館から集めました資料をもとに企画展を行いますので、そのことなど少しつけ加えさせていただきたいと思っております。その翻訳は、普通の研究所のレベルですと、全くわからないようなことを、アメリカの退役軍人などに、本格的に訳していただいて、新たな新事実もたくさんわかっておりますので、そういうことも含めた企画展をやりたいと思っております。

この2は、このままが正式名称でございますので。

○竹内教育長 図書館長。

○鎌田図書館長 11ページの20番でございますが、高齢者と障害者というような形での御意見につきまして、趣旨に添うように修正をいたしまして、目標設定にも該当するものを、加えるようにいたします。

○渡邊委員 どうもありがとうございました。

○竹内教育長 小出委員、どうぞ。

○小出委員 3点あります。

6ページ、10番の多忙化ですね。こちらに、課長から新たなということがありますけれども、早く進めていただければ大変に期待をしておりますので、そこをお聞かせ願いたいと思っております。

それから、質問なんですけど、11番ですね、今年小学校の教科書選択がありますが、新たな英語とプログラミングの教科書というのはあるのですか。16番、ストレッチイベントというのは、体を伸ばすストレッチのことでよろしいのでしょうか。それで、効果と反省とありますが、反省があったならお聞かせください。

以上です。

○竹内教育長 指導課長。

○秋山指導課長 働き方改革のところでございます。

新たな方策、これをという名案はなかなか出ておりませんで、今、知恵を絞っているところです。ただ、各教員の持ち時数の軽減は、予算と絡んでくるので、必ずできるとは言えないんですけれども、このあたりは取り組んでまいりたいと思っております。

それから、教科書採択の件ですけれども、小学校5年生と6年生の英語につきまして

は、教科書がございます。プログラミングにつきましては、幾つかの教科の中で取り組めるような内容が入っている、理科などに少しそういう内容も今度の教科書には盛り込まれてくるということですが、プログラミングという教科書はございません。

○小出委員 プログラミングというと、2進法、8進法、16進法で示しますよね。そういうことは、小学校何年生ぐらいからやるのですか。

○竹内教育長 指導課長。

○秋山指導課長 小学校のプログラミング教育は、そういういわゆるプログラミング自体を学ぶものではなくて、プログラミング的思考ということを学んでいくということですので、そういうパソコンの仕組みとか、コードを直接に学ぶというものではございません。

○小出委員 それと、フローチャートみたいなものを行っているのですね。

○秋山指導課長 そうですね。考え方としては、物を考えるとき、フローチャートの考えでいくと、整理をされてそういう考え方ができると役立つというふうな、そういう内容の教育ということになっています。

○小出委員 はい、わかりました。ありがとうございます。

○竹内教育長 生涯学習スポーツ課長。

○長坂生涯学習スポーツ課長 ストレッチイベントの効果と反省というところで、効果につきましては、ふだん余り運動習慣のない方が多く見えられたということが大きいと思っております。

反省点としましては、単発のイベントで終わってしまうような傾向がありましたので、次につながるメニューのご紹介をあわせて行うようなことを今後、検討していったほうがいいかと思っております。

○小出委員 ありがとうございます。

○竹内教育長 よろしいでしょうか。

ほかにはご質問、ご意見ございませんか。

それでは、協議事項1については、ご指摘いただいた点について修正する、あるいは配慮をする、留意をした上で進めていくなど、今年度の主要事業として了承し、1年間の進捗についてご報告していきたいと思っております。

よろしくお願いいたします。

## ◎報告事項

### ○竹内教育長 続きまして、報告事項に入ります。

報告事項1、平成31年度武蔵野市教育委員会職員の人事異動の専決処分についてです。

この報告事項につきましては、市全体の人事異動の一環として、3月22日に内示があったものですが、教育委員会にお諮りするいとまがございましたので、教育長の専決処分とさせていただいたものでございます。

教育部長から説明いたします。

### ○福島教育部長 4月1日付で、報告事項、資料1の資料にございますとおり、合計で33名の異動がございました。それに加えて、指導主事が1名、転任をしておりますので、合わせますと34名でございます。

以上でございます。

### ○竹内教育長 ただいま教育部長から説明がありました。

この報告事項につきましては、専決処分の報告でございますので、教育委員の皆様からのご意見があれば、特にお伺いしたいと存じますが、いかがでしょうか。

ご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

それでは、この報告事項につきましては、了承されたものといたします。

次に、報告事項2、平成31年度武蔵野市立学校教職員の人事異動の専決処分についてです。

この報告事項につきましては、市立学校教職員の定例の人事異動でございますが、教育委員会にお諮りするいとまがございましたので、教育長による専決処分とさせていただいたものでございます。

指導課長から説明いたします。

### ○秋山指導課長 それでは、お手元の平成31年度教職員定期異動状況をご覧ください。退職者につきましては、校長の退職者が2名、副校長の退職者が4名です。主任教諭の退職者が5名、教諭の退職者4名、学校事務の退職者1名でございます。市全体では16名となります。

続いて、市外転出者につきましては、副校長2名、主幹教諭4名、主任教諭7名、教諭23名、主任養護教諭1名、養護教諭2名、学校事務2名で、市全体では41名となります。

退職者及び市外転出者を合わせますと、57名となります。

続いて、市内転入者につきましては、校長4名、副校長7名、主幹教諭11名、指導教諭2名、主任教諭27名、教諭18名、主任養護教諭3名、養護教諭1名、学校事務2名で、市全体では75名となります。ただし、この中の22名は、市内転や主幹教諭の自校昇任、再任用新規でございますので、実際に市内に転入された教職員は53名となります。

さらに、新規採用者は、小学校21名、中学校4名、合計25名おります。この中には、昨年度の期限つき任用教員から正規採用教員となった方が6名含まれておりますので、実質の新規採用者は19名でございます。市内転入者及び新規採用者を合わせますと、78名となります。

なお、異動対象者の氏名等につきましては、平成31年度市立小・中学校教職員異動一覧のほうをご覧ください。

説明は以上でございます。

○竹内教育長 ただいま指導課長から説明がございました。

この報告事項につきましては、専決処分の報告ですので、教育委員の皆様からのご意見があれば、特にお伺いしたいと存じますが、いかがでしょうか。

ご質問、ご意見ございますか。

よろしいでしょうか。

それでは、この報告事項につきましては、了承されたものといたします。

次に、報告事項3、武蔵野市教育委員会事務局処務規程の一部を改正する訓令の専決処分について及び報告事項10、武蔵野市教育委員会事務専決規程の一部を改正する訓令の専決処分についてです。

この報告事項につきましては、平成31年4月1日実施の組織改正として、3月22日に公表されたものですが、教育委員会にお諮りするいとまがありませんでしたので、教育長による専決処分とさせていただいたものでございます。

なお、この2つの規程の改正は、相互に関連しているものですので、一括して報告をいたします。教育企画課長から説明をいたします。

○渡邊教育企画課長 まず、(3)武蔵野市教育委員会事務局処務規程です。これは4月1日付で市全体の組織改正の中で、教育調整担当課長の職が廃止されたことに伴う改正でございます。

次に、(10)武蔵野市教育委員会事務専決規程ですが、これは事務分掌に関する規定

で、教育調整担当課長に関する部分の改正について、本日、ご報告する予定でしたが、この改正のほかに市全体の契約事務の見直しの関係で、急遽、追加して改正すべき事項が出てきましたので、時間的に今回、間に合わないため、追加分も含めて5月にご報告をしたいと思います。そのため、(10)につきましては、4月の報告は取り下げたいと思います。

説明は以上になります。

○**竹内教育長** ただいまの説明に、質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

この報告につきましては、専決処分の報告ですので、教育委員の皆様からのご意見があれば、特にお伺いしたいと存じますが、いかがでしょうか。質問、ご意見はございますか。

よろしいでしょうか。

それでは、この報告事項につきましては、10の報告事項を事務局において取り下げましたので、(3)について了承されたものといたします。

次に、報告事項4、武蔵野市立学校職員服務規程の一部を改正する訓令の専決処分について及び報告事項5、武蔵野市立学校職員出勤等記録整理規程の一部を改正する訓令の専決処分についてです。

この報告事項につきましては、学校職員の出退勤に関してタイムレコーダーを導入することに伴うものでございますが、教育委員会にお諮りするいとまがありませんでしたので、教育長による専決処分とさせていただいたものでございます。

なお、この2つの規程の改正は、相互に関連しているものですので、一括して報告いたします。

指導課長から説明いたします。

○**秋山指導課長** 武蔵野市立学校職員の勤怠管理につきましては、平成29年4月1日より第四小学校及び第六中学校において、タイムレコーダーによる管理を先行実施しており、この2校はタイムレコーダーによる管理、ほかの16校は出勤簿に押印することによる管理と規定をしておりました。

このたび、平成31年4月1日より、全市立小学校でタイムレコーダーによる管理を開始することになりましたので、それにあわせて服務規定及び出勤等記録整理規程の一部を改正するものでございます。

説明は以上です。

○竹内教育長 ただいまの説明に質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

この報告事項につきましては、専決処分の報告ですので、教育委員の皆様からのご意見があれば特にお伺いしたいと存じますが、いかがでしょうか。

質問、ご意見、ございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

それでは、この報告事項につきましては、了承されたものといたします。

次に、報告事項6、生涯学習計画策定委員会の設置についてです。

生涯学習スポーツ課長から説明をお願いします。

○長坂生涯学習スポーツ課長 現在の武蔵野市生涯学習計画は、平成31年度までの10年計画であり、次の10年の生涯学習の推進のため計画の改定を行います。改定に当たっては、それぞれの専門分野の社会教育委員、学識経験者等11名の委員による計画策定委員会を設置し、策定に関する検討を行います。

設置期間、予定スケジュール等につきましては、資料に記載のとおりです。

また、委員構成につきましては、別紙に記載のとおり社会教育委員の会議、宇佐見議長、2名の公募委員、教育部長を含む11名です。

4月11日に第1回の会議を実施し、おおむね資料記載のスケジュールのとおり検討を進め、年度内に計画に関する報告を行う予定です。

教育委員会へは、中間のまとめ等、要所におきまして適宜報告を行ってまいります。また、5月9日に実施いたします策定委員会におきまして、教育委員の皆様と策定委員との懇談会を予定しております。これに先立ち、事務局より教育委員の皆様へ、計画に関するご説明をさせていただく予定ですので、よろしくをお願いいたします。日程は調整中ということで、よろしくをお願いいたします。

以上です。

○竹内教育長 ただいまの説明に質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

学識で社会教育委員以外に、東京大学の牧野篤先生が入っているんですが、この先生は、国の中教審の専門部会、生涯学習の計画に関与をされている先生で、各地のいろいろな市民活動にもかかわっていらっしゃる方なので、そういった意味で外の事情についていろいろとご助言いただけるんじゃないかなと思っております。

社会教育委員の皆様については、ご案内のとおりだと思います。

よろしいでしょうか。

特にほかにご質問、ご意見ございませんでしたら、この報告事項につきましては、了承されたものといたします。

次に、報告事項7、武蔵野地域自由大学称号記授与式についてです。

生涯学習スポーツ課長から説明いたします。

○長坂生涯学習スポーツ課長 3月21日、秋分の日、平成30年度武蔵野地域自由大学称号記授与式を、本年度、座長大学の武蔵野大学キャンパスをお借りして実施いたしました。30年度は資料中央の表、称号取得者数の30年度の欄にお示ししたとおり、新たに市民博士8名、市民修士10名、市民学士13名、市民準学士22名の計53名が称号を取得され、うち当日、市民博士4名のほか28名のご出席をいただき、自由大学、西尾勝新学長による称号記授与が行われました。

教育委員会から教育長が出席し、来賓として市長も臨席され、ご挨拶をいただきました。

累計数は、自由大学学生数等につきましては各表に記載のとおりです。

授与式の後には自由大学学長、五大学学長、教育長及び市長と出席者の皆さんとの懇談会が行われました。

以上です。

○竹内教育長 ただいまの説明に質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

渡邊委員、どうぞ。

○渡邊委員 この称号記授与要件のポイント数とは、授業を受けた科目数がポイントになるのですか。

生涯学習スポーツ課長。

○長坂生涯学習スポーツ課長 失礼しました。

称号記授与要件のところで、それぞれ記載のとおり市民博士が50ポイント以上の取得ですとか、こういったところで要件と。

○渡邊委員 そのポイントの受けた科目との関連というのは、どういう対応なのでしょう  
か。

○長坂生涯学習スポーツ課長 すみません、ちょっとすぐには。

○渡邊委員 わかりました。

○長坂生涯学習スポーツ課長 申しわけありません。

○渡邊委員 調べればわかります。どうもありがとうございました。



○竹内教育長 懇談会でも、この市民博士、博士を取得するのに何年ぐらいかかりましたと伺いましたら、10年はかかりますとおっしゃった。10ポイントの市民準学士でも、複数の年度をかかっていたらいらっしゃる方がいるので。

○渡邊委員 私の授業にも、そういう方はたまに来られるんですが、1年間の半期で3科目程度履修されておりました。

○竹内教育長 いろんな勉強も積み重ねだと思います。

○渡邊委員 そうですね。頑張っているからですね。どんどん増えるといいなと思いますけれども。

○竹内教育長 ほかにはよろしいでしょうか。

それでは、この報告事項につきましては、了承されたものといたします。

次に、報告事項8、武蔵野市生涯学習事業費補助金の募集について及び報告事項9、武蔵野市子ども文化・スポーツ・体験活動団体支援事業費補助金の募集についてです。

この2つの報告は、相互に関連しているものですので、一括して報告いたします。

生涯学習スポーツ課長から説明をいたします。

○長坂生涯学習スポーツ課長 武蔵野市生涯学習事業費補助金及び武蔵野市子ども文化・スポーツ・体験活動団体支援事業費補助金の募集について、ご説明いたします。

資料は、二十歳以上の方を対象とするのが生涯学習事業費補助金、19歳以下の子どもを対象とするのが子ども文化・スポーツ・体験活動団体支援事業費補助金です。

いずれの補助金も平成28年度にリニューアルをいたしまして、31年度が4年目の事業になります。両補助金ともNPO、企業、学校等、各団体が行う事業について、最大50万円の補助金を交付するものです。30年度の実績は、それぞれのチラシの表紙、中央やや下の補助実績に記載のとおり、生涯学習が12件、子ども文化が17件でした。予算の上限等もあり、申請された全ての団体には交付できておりません。

スケジュールは、いずれの補助金もチラシの最終ページに記載のとおり、4月22日まで申し込みを受け付けまして、5月に2日間、社会教育委員によるプレゼン審査を実施します。その後、6月14日には交付決定の通知をいたしたいと考えております。

なお、今回は社会教育委員からの提言もあり、3月7日に武蔵野プレイスにおいて、両補助金についての説明会を実施いたしました。約30名の参加があり、今まで両補助金を利用したことのない新規団体のご参加もありましたので、新しい事業の申請も期待できると考えております。

以上です。

○竹内教育長 ただいまの説明に質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

山本委員。

○山本委員 この事業費の補助金は、本当にいいことですよね。うまく使えて、お助けすることができたら。以前、まちづくりのNPOほか、いろんな団体への補助金のことにかかわっていたことがあるんですけども、そのとき一団体への補助金が最大50万円だったんです。だけど、50万円というほどじゃなくて、半分、半分にするということを実施したことがあるんですよ。50万円補助しますって、たいそう大きな動きなので、そういうことが可能なかどうか、またかつてそういう例があるかどうか。そのあたりは柔軟にすると、補助金が生きてくるかなという気もするんですけども、教えていただけますか。

○竹内教育長 生涯学習スポーツ課長。

○長坂生涯学習スポーツ課長 昨年度の実績ですけれども、例えば子ども文化のほうにつきましては、申請金額も3万2,000円から上限の50万円まで申請されている団体もございますので、その団体の規模によってですとか、事業内容によって確定金額も変わってくるかと思えます。

○山本委員 ということは、50万円ずつではなくて、50万円の中でということか。

○長坂生涯学習スポーツ課長 はい。そうです。上限になります。

○山本委員 すみません。勘違いしてしまいました。

○竹内教育長 はい、上限で。

○山本委員 なるほど。わかりました。

○竹内教育長 ほかいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、この報告事項につきましては、了承されたものといたします。

---

### ◎その他

○竹内教育長 次に、その他に入ります。

その他として何かございますか。

○渡邊教育企画課長 では、机上のほうに武蔵野市教員アンケート調査報告書を配付させていただきました。

これは昨年12月の教育委員会定例会で、速報版としてご報告したものでございます。冊子としてまとまりましたので、本日、机上配付のほうさせていただきました。内容は変わりませんが、職層の違いがわかるようにというご意見をいただいておりますので、分けてグラフ等はつくっております。

以上でございます。

○竹内教育長 このことについて、何かご質問、ご意見はございますか。

よろしいでしょうか。

それでは、これをもちまして本日の日程は全部終了いたしました。

次回の教育委員会定例会は5月9日、木曜日、午前10時から開催いたしますので、よろしく願いいたします。

---

#### ◎閉会の辞

○竹内教育長 平成31年第4回教育委員会定例会を閉会といたします。

お疲れさまでした。

午後 0時05分閉会